

調査レポート Part.1

Report

業界の景況・自社の景況ともに改善 ～自社の景況は4期ぶりの改善～

平成28年10月～12月の福井商工会議所会員小規模事業所の景況感は業界の景況・自社の景況ともに改善という結果になった。業界の景況は2期連続の改善、自社の景況は4期ぶりの改善となった。しかし、3ヵ月後の見込みDⅠ値を見ると、3ヵ月後に不透明感を感じている事業所が多い。

業種別に見ると、製造業以外の業種において、業界・自社の景況の改善が見られる。また、売上高の改善は小売業以外の業種で見られるなど業種の総じて改善傾向にある結果となった。

《DⅠ値とは・・・》

デフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DⅠ値は3ヵ月前を基準とした現在の状況、「先行」DⅠ値は今後3ヵ月後の状況を予測したものである。

《自社の景況》

自社の景況は、現在DⅠ値は▲23・8となり、前回調査より7・8ポイント改善した。3ヵ月後の先行DⅠ値は▲35・0で現在より11・2ポイントの悪化を見込んでいる。

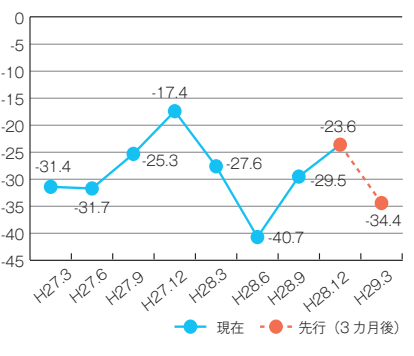
《売上高（受注高）》

売上高状況を表す現在DⅠ値は▲17・7で、前回調査から14・9ポイントの改善となった。3ヵ月後の先行DⅠ値は、▲29・4となっており、11・7ポイントの悪化を見込んでいる。

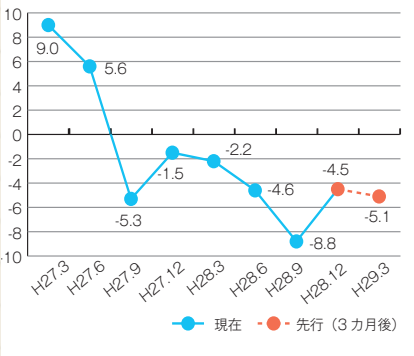
《業界の景況》

業界全体の現在DⅠ値は▲33・0を示し、前回調査（H28・9期）から9・5ポイント上昇し、2期連続の改善となった。3ヵ月後の動向を表す先行DⅠ値は▲40・7で、悪化を見込んでいる。

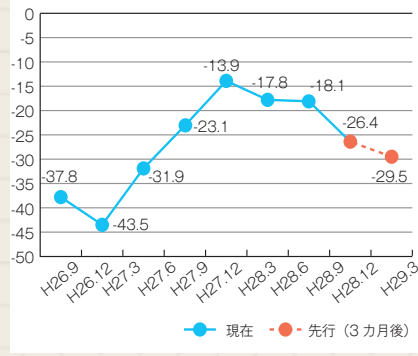
【グラフ 採算（収支）】



【グラフ 販売価格】
(価格が「上昇」-「下落」)



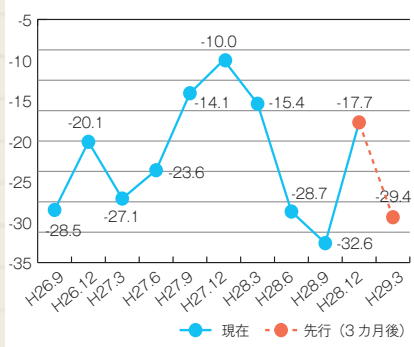
【グラフ 仕入価格】
(価格が「下落」-「上昇」)



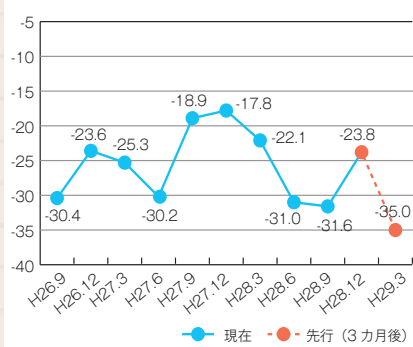
業種	前回調査と今回の現在DI値の比較					
	業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、原材料等)	販売価格	採算(収支)
全業種	▲	▲	▲	▲	▲	▲
製造業	▲	▲	▲	▲	▲	▲
建設業	▲	▲	▲	▲	▲	▲
卸売業	▲	▲	▲	▲	▲	▲
小売業	▲	▲	▲	▲	▲	▲
サービス業	▲	▲	▲	▲	▲	▲

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を表している。

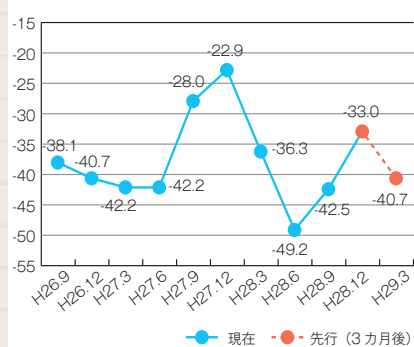
【グラフ 売上高（受注高）】



【グラフ 自社の景況】



【グラフ 業界の景況】



《採算（収支）》
採算状況を表す現在DⅠ値は▲23・6と、前回調査から5・9ポイント増、2期連続の改善という結果になった。3ヵ月後の先行DⅠ値は▲34・4で、現在と比べ10・8ポイントの悪化を見込んでいる。

《販売価格》
販売価格の現在DⅠ値は▲4・5、前回調査から4・3ポイントの改善となった。3ヵ月後の先行DⅠ値は、▲5・1となっており、わずかな悪化が予測される。

《仕入価格》
仕入価格の現在DⅠ値は▲26・4、前回調査から8・3ポイント減と、3期連続の悪化という結果になった。3ヵ月後の先行DⅠ値は、▲29・5となっており、3・1ポイント減を予測している。

- 調査時期
平成28年12月5日(月)～9日(金)
- 調査方法
FAXによる送付、回収
- 調査対象
福井商工会議所会員小規模事業所より 364件を抽出
- 回答数
182件(回収率50・0%)

福井県内企業倒産			求人・求職状況				福井県人口・世帯数			
	倒産件数(件)	負債総額(百万円)		10月中	前月	前年同月		11月1日現在	前年同日	増減
平成28年9月	0 (2)	0 (126)	求人数 (人)	20,198	20,022	18,166	人口 (人)	782,443	786,939	-4,496
平成28年10月	1 (5)	88 (392)	求職者数 (人)	10,378	10,622	11,042	男 (人)	379,415	381,452	-2,037
平成28年11月	3 (5)	121 (368)	有効求人倍率(倍)	1.90	1.87	1.60	女 (人)	403,028	405,487	-2,459
							世帯数(世帯)	281,578	279,607	1,971
							一世帯数あたり(人)	2.78	2.81	-0.03

※ () 内は前年同月 (株東京商工リサーチ) (有効求人倍率は季節調整値) (福井労働局) (福井県 政策統計・情報課)